

## 2006年度 第6回幹事会議事録

●日時  
2006年3月31日(土)  
15:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校内

●出席者  
秋元圭一 [会長]  
三好耕之 [常任]  
西田一成 [常任]  
大村政幸 [常任]  
浜村圭一 [常任]  
松岡和彦 [常任]  
白石龍子 [常任]  
小山 弘 [常任]  
勝山昌幸 [常任]  
角谷祥子 [常任]  
富澤和治 [常任]  
永吉昭浩 [会 員]

●委任欠席(カッコ内→代理人)  
藤川正美(西田)  
菊池 満  
日野 高(秋元)  
甲斐光省(秋元)

常任出席者 11名  
委任欠席者 5名  
定足数成立

●議事進行  
議長・進行: 秋元圭一

●議事録  
書記: 坂井由実  
校正・制作・文責:  
秋元圭一・小山 弘

## ■議題

- 1 活動計画と予算について  
2 予算案について(1の続き)とその他

## 議題1: 活動計画と予算について

07年度の活動計画と予算について各担当から説明があった。

まず小山氏が事務局について説明した。

- 1: 事務局長を後半から大村氏へ交代を予定している。
  - 2: 同窓会インフォメーションを10~3月までに500部で作成する。
  - 3: メールアドレスなど項目が増えているために新しい名簿フォーマットを作成する。
  - 4: 事務局のマニュアルが複雑化してきているため、新マニュアルを作成する。
- などがあげられた。

次に松岡氏がweb管理について説明した。更新作業費は大村氏に払っていたが、リニューアルを期に外注する考えもあると話した。

次に小山氏が広報について説明した。同窓会インフォメーション、同窓会ニュースは従来のサイズのA4だが、個人情報などの固定情報をインフォメーションに移し、ニュースのスペースをあけて作成すると話した。ニュースは4000部、インフォメーションは500部の予定である。

次に秋元氏が会則検討について説明した。会則検討が大きく変わる部分が無い事、6月決算時に会則検討について承認を得て一段落する事が伝えられた。

また、若い会員向けの企画などの新企画予算についてはまだ具体案がない為、予算立てはしていない。

続いて秋元氏が選挙管理について説明した。2年に1回の選挙があり、次回は来期の春に実施予定と述べた。

最後に西田氏がセミナー実行プロジェクトについて説明した。「アサビブリッジセミナーを定着させよう」という目標のもと、今年は2回セミナーを実施する予定であると述べた。

また、1回目は6月中旬の予定、2回目は10月中旬の予定であり2回目は前回の常任幹事会で話された、中野教授のセミナーと交流会の予定という事も述べた。

セミナー2回目のメンバーは1回目の構成メンバーと同じであることも伝えられた。

その後、秋元氏から予算案の補足として、

- (1) 選挙費の10万については、今までギリギリだったために余裕をもたせた。
- (2) 会費徴収は3年進級時に授業料と一緒に、学校に代行をお願いし実施する。また代行手数料を学校に払う。
- (3) 総会パーティーは来年の秋の予定だが、準備を今年から始めるために準備費がかかる。
- (4) 同窓生、在校生支援の講演会はやっていないので予算は0とする。
- (5) 全ての予算額の明細は幹事会までに送付。6月予定である。
- (6) 広報の予算を事務局の項目にし、空いた口座をセミナープロジェクトに使用したい。

などがあげられた。

(6)については「(西田) 広報はわかりやすい様に外に出しておいたほうがいい」と述べ、「(松岡) セミナープロジェクトとして独立するにしても、立ち上げ当初とは違う部分もある。それらをはっきりするために一度承認をして確認するべき。」などの意見が上がった。

## 議題2: 予算案について(議題1の続き)とその他

予算案については現在の状況を確認した後、今後どのような別れ方になるのかが論議された。秋元氏からは、事務局の項目として「広報、選管、総会準備、会則検討、会費徴収」であり、独立組は「web、同窓生在校生支援(今後は在校生支援と同窓生支援(セミナー、新企画、広報)に別れる事も)」であるとの見解を述べた。

また、今後の収入を考えていく上で松岡氏から「3年生になるのは100人程度。20年程度の予算にしかならない。何かをやっていくにしてもそれなりの予算を組むべき」と述べ、これについては「(秋元)色んな事をやった対価が予算を産むが、生徒数が増えるのが考えにくく、予算を抑えると今度は企画が組めなくなる。会長が交代したときには違ったベクトルになることも考えてほしい」と答えた。

プロジェクトメンバーについては松岡氏から「メンバーの重複は避けたい。仕事の負担や交通費の問題などもある。3~5人がいい」と述べた。これについて「(秋元)常任幹事以外の人にも参加してもらえるようになるといい」と述べ「(西田) 卒業生、外部者のセミナーになったときに2~3人だと難しい」「(松岡) 委員は2~3人で、手伝える人は多くなっても構わない。責任をもつ企画が多くなるのが大変という意味」「(秋元) 人数もそうだが、まずは中野教授のスケジュールを聞いてからセミナーの事を細かく決めていくべき」との意見もあった。